

# 鶴岡ロータリークラブ会報

## 833

1975-12-9 No.24

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区  
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさびや  
例会日 毎週火曜日 午後 12.30～1.30  
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775  
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 勲

### ◆ 点 鐘

### ◆ ロータリーソング (我等の生業)

### ◆ ビジターゲスト紹介

### ◆ 会長報告

- 庄内分区代理 伊藤さんの奥様の葬儀があり、わたしが出席しました。
- 以前報告しました地区インターアクト海外派遣の件について漸く準備が整い一行16名が1月初旬に出発する事になりました。当会推薦の2君が今日挨拶に来て居ります。
- バーバラが家族と共に写った写真を送って来ました (回覧)

### ◆ 幹事報告

- 山形、山形南、山形北RC 各々12月16日、24日、25日例会時間家族会開催の為午後6時に変更。
- 温海RC 12月22日(日)例会時間を5時に変更

### ◆ ゲストスピーチ 萬自動車(株)副社長 三浦 昭氏(後述)

### ◆ 委員会報告

- ローターアクト委員長 高橋良士君 鶴岡ローターアクト 小野寺君  
今年は鶴岡ローターアクトクラブ設立3周年になりますので、多彩な計画を予定して居ります。会員による人形劇の初公演、酒田東、遊佐より交換学生を招待し、国際理解を深めたい。亦13日午後5時半より産業会館に於いてオークションを開催します。会費は2,000円以上となっています。皆様の来駕をお待ちしています。

### ◆ 鶴岡工業高校 阿部先生のIA研修団同行に就いて挨拶(後述)

### ◆ インターアクト委員会 安藤定助君

- 地区第2日IA米国親善研修旅行に就いての経過報告と実施要領に就き解説(一部後述)

### ◆ 親睦委員会スマイル発表 佐藤 昇君

### ◆ 出席報告 斎藤栄作君

### ◆ 点 鐘 点鐘後理事会

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を!

工業高校・阿部先生の挨拶

国際奉仕 小池繁治君より紹介

本来はプライベートな旅行であります。1月4日に羽田を立ち前中はインターアクト米国親善研修団の諸君と行を共にし、後半は米国西部を廻り以前西クラブに交換学生として世話になったニアナレオン嬢とか当クラブにお世話になったバーバラクレーマー嬢にも会って来たいと思って居ります。亦当クラブから交換学生として米国に行き居ります齋藤太一君、伊藤久美さんらにも会って来たいと思って居ります。尚私信でも招待が来て居りましたニューブランズウィックのロータリークラブにもぜひ顔を出して、当鶴岡RCの意向も充分伝えて来たいと考えて居ります。4日に発ち、17日帰る予定です。

鶴岡工高の生徒 木村日出夫君も次の例会あたりで、高専学生 齋藤稔君と共に挨拶に来させたいと考えて居りますが、この度の研修生の派遣は大変な難く御礼申し上げます。(要旨)

国際ロータリー 第353地区 第2回 I A 米国親善研修旅行  
プランに就いて

インターアクト委員会 安藤定助君

これの実現に就いては三井徹氏の一方ならぬ御苦勞によった事をまず附言し、感謝の意を表したいと思います。

参加者は下記の通りです。

伊藤 藤 正 之 (鶴岡工業高専英語教師)	齋藤 藤 稔 (鶴岡工業高専学生)
神原 原 久 雄 (磐城農高農業・理科教師)	島田 田 京子 (磐城農高生徒)
高杉 杉 昌 勝 (喜多方工高電気科教師)	齋藤 藤 三 仁 (喜多方工高生徒)
桜木 村 可 昌 幸 (岩瀬農高英語教師)	野沢 沢 三 仁 恵 (岩瀬農高生徒)
木村 村 篤 士 (緑が丘高校国語教師)	野原 原 史 (佐原病院院長)
木佐 佐 日出夫 (鶴岡工高生徒)	佐原 原 三 井 徹 (三井病院院長)
三井 井 英 子 (主婦)	三井 井 徹 (三井徹氏夫人)

日程は次表の様になります。

集合日時：昭和51年1月4日(日) 午後2時30分(時間厳守)

場 所：東京羽田空港国際出発口 日本航空団体受付カウンター前

昭和50年11月5日現在

日程	月日(曜)	発着都市名	発着時間	利用交通機関	摘 要
1	1.4 日	東京 発 サンフランシスコ 着	17:00 10:10	J L 002	日航ジャンボジェットでサンフランシスコへ 着後：専用バスで市内観光 フィッシャーマンズワープで昼食の後ホテルへ 午後：自由行動
2	1.5 月	サンフランシスコ 滞 在			終日：自由行動 パート試乗 カリフォルニア大学等訪問
3	1.6 火	サンフランシスコ 発 ロサンゼルス 着	09:45 10:49	WA 601	空路ロサンゼルスへ 着後：市内観光 途中レストランで昼食の後ホテルへ
4	1.7 水	ロサンゼルス 発 サンパナディーノ 着		バ ス	現地ロータリアンの出迎えてサンパナディーノへ 現地プログラムによる
5	1.8 木	サンパナディーノ 滞 在			現地プログラムによる
6	1.9 金	サンパナディーノ 発 ロサンゼルス 着 ロサンゼルス 発 ホノルル 着	10:30 12:50	J L 061	着後：市内観光の後ホテルへ
7	1.10 土	ホノルル 発	15:25	J L 061	午前：自由行動 帰国の途に
8	1.11 日	東京 着	19:20		着後：解散

※上記の御旅行日程は都合により変更されることがあります。

(注) J L：日本航空 WA：ウェスタン航空

研修の目的は向うのJAの会員RCの会員と会話を通しての研修。亦向うの家庭に入っての生活を通しての体験と一部観光見物となっております。尚この経費は均自己負担、均地区負担均スポンサークラブ負担となっております。顧問教師は全額自己負担であります。当クラブは工業高校生徒、高専生徒負担という事もあり、予定より多くなり、25万円となっております。宜しく三井委員長の御苦勞も御理解戴いて御了承願いたいと存じます。

## ゲストスピーチ

萬自動車株式会社 副社長 三浦昭氏

米国経済事情と経営者（管理者）及び  
我国自動車産業の米国に於ける立場

私は工場管理者としての立場にあたり、こうしたスピーチは苦手なのですが、当地の庄内ブレスの役員も兼務して居り、皆様のお蔭を持ちまして、漸く軌道に乗って参りそのお礼もあり亦たびたび米国にも参りまして米国事情の理解にも努めて参りましたので新穂さんから捕まった以上止むなくここに立ったものです。

御手許に米国経済指標を配布しました。玉城頭取以下御専門のバンカーの方々もいらっしやいますが、俗に“米国がくしゃみをすれば日本が風邪を引く”という事として富士銀行のニューヨーク支店の調査役の方にお聞きしたものです。ご参考になればと思います。

これは、ながめて戴ければ一目了然であります。尚若干の補定説明を申し上げますと

## 米国経済、金融

## I 経済（指標は別表）

## 1. 景気は回復過程

(1) 日本、西独より順調に回復中。

real GNP 1/四半期 2/四 3/四 (4/四)  
(年率) -11.4% +1.9 +11.2(+6~7)

(2) 第4四半期GNPは+6~7%成長

## 2. 問題点

(1) ① 連邦、州、市など一般的に財政赤字

② 特にニューヨーク市は破産の瀬戸際

万一破産 ① 米景気回復に悪影響

② 金融不安

③ 国際的悪影響

(世界景気、ユーロマーケット)

然し連邦が次第に救済に乗り出すさぎし。

(2) 物価動向（対前月比）

卸売物価 7月 8月 9月 10月  
+1.2 0.8 0.6 1.8

(内工業製品)+0.4 0.6 0.7 1.2

万一インフレ再燃→景気回復に水

(3) 住宅建築不振。自動車販売不透明

10月及び11月上旬の自動車販売は好調

76年型新車発売によるこの好調が持続

することを期待する向きが多いが尚、

不透明。

不透明というのは、これはマクロ的に見た

場合の事として、アメリカの需要家のニーズに合致してかどうか多少の懸念があるという事です。日本の車はアメリカで好感を持って迎えられて居りまして、例えば次表のアメリカ日産販売76年の乗用車 285万台、トラック 784万台という数字を見ても判りますし、次の各社の75年から76年の値上り率を見てもダットサン、トヨタはVW、GMからみて小さい率です。今後競争力もあると思つて居ります。

## (4) 失業率

ピーク 5月 6月 7月 8月 9月 10月  
9.2% 8.6% 8.4% 8.4% 8.3% 8.6%

## II 金融

## 1. 借入れ需要薄弱

需要は回復しつつあるが未だ弱い。景気回復が未だ消費段階に留り、在庫積増し新規設備投資に迄及んでいないため。

## 2. (1) 低金利

プライムレート 7.25%  
(公定歩合) (6.0%)

## (2) 理由

① 連銀マネーサプライ強化策

② 金融市場安定化策

(ニューヨーク市グランド破産)

③ 資金需要薄弱

## 米国自動車生産

	'71	'72	'73	'74	'75	'76
miu	9.3	10.7	11.8	9.6	8.2	9.7

## アメリカ日産販売

	'71	'72	'73	'74	'75	'76
Passenger	185	180	235	193	252	285
truck	65	72	86	63	74	84

## PRICETRENDS

1975~76

GM 430 268

フォード 405 247

クライスラー 415 178

AMC 414 191

Dutsun 423 176

トヨタ 320~467 195

V.W. 270~320 341

現在は大変な不況下にあります。充来の高度成長時代から一変して安定成長あるいは低成長時代に入ったと云われます。私、2番目に申し上げたいのは高度成長時代は我々としても生産及び財務に最重点がおかれまして。つまりいかに物を多くつくるかにか金操りをうまくするかという事でしたが、今後これまでに増して重要なのはマネージメント、マ

一ケツテン、社会科学との関聯をどうするか等々、計数管理、管理者レベルの向上という事がより大事ではなからうかと思つて居ります。そうした計数管理システムの背景としてかならずしも当を得ていないかも知れませんが私見を項目別に分けてみました。

計数管理システムの背景

1. 総論
 

日本	米国
人種	単一 多種
公平感	弱 強
経済成長度	高度 安定
国際化	少 大
大学教育	理論狭い 実践広い
責任所在	間接 直接
計数管理ニーズ	少 大
人事	“和” “責任”

2. 經理担当者（管理者の一例として）

- (1) (日本) generalist  
同一会社の部門間移動
- (米国) specialist  
異なる会社の同分野移動
- (2) (日本) 經理知識、銀行接洽
- (米国) business 知識、意識
- (3) (日本) グループ作業
- (米国) 個別作業と調査
- (4) (日本) 他社と他産業との交渉：少
- (米国) 積極的で：多

3. 要求されている資質
  - BUSINESS SENSE
  - ABILITY OF ANALYSIS
  - TECHNICAL ABILITIES
  - SOCIALITY

4. その他

- (1) 管理の集中：分散
  - (日本) 分散がち
  - (米国) 集中度強い、特に管理面
- (2) 月次締切、年末決算
  - (日本) 正確で遅い
  - (米国) 予測も入るが早い

(1 WK—3 WKS)

- (3) 報告サイクル
  - (日本) 月次
  - (米国) 日次—週次

計数管理へのアプローチの強弱
- (4) 税務会計
  - (日本) 税務会計にもとづく計数
  - (米国) 企業実体にもとづく計数
- (5) 会社全体の関心
  - (日本) マーケット、シェア
  - (米国) 利益追求

売上指向

5. 計数管理システムの特徴

- (1) 経営戦略——買収、合併、交流、物流分析、新事業計画、
- (2) 計画機能——プロジェクト企画（設備投資計画etc）、長期利益計画、生産計画
- (3) 管理機能——プロジェクト会計（設備投資、事務合理化、VA活動、製造設備合理化等々のFollow-UP）  
業務管理（地域別物流コスト、仕入業者別価格差異、推移、間接部門費、標準原価分析、在庫管理）
- (4) 主計機能——形態別分類、機能分類  
内部索制（担当者、書類間照合etc）  
企業実体の維持  
連結決算、インフレーション会計引当金  
棚卸資産評価 etc

日本人は米国人とはっきり異なります。以上、わけたどちらがよいかという事ではなくて日本が高度成長から安定成長に変わるには彼等のやり方を研究して何らかの示唆を得たい。その両者の中間の所に何か方向が見出されないかと思うのであります。

（紙面の関係で後略）

スマイル

佐藤会長 秋田方面で世にもめずらしい黒鯛  
1尺7寸余を釣上げられた  
モントリオールに於て第66周年次大会参加記念Potoの中に三井先生おりました  
山相大山支店12月1日オープン  
設計監理 佐藤昇

出席報告

本日	出席者	70名	欠席者	皆川君、張君、今野君、小松君、齋藤(信)君、佐藤(正)君、進藤君、高橋(正)君、横山君、内山君、菅原(辰)君
前回	出席率	81.43%	メア	阿部(襄)君—酒田RC 小松君—立川RC 板垣君、黒谷君
修正	出席数	68名	1ッ	嶺岸君、中江君、佐藤(友)君、進藤君、菅原(啓)君、中野
確定	出席率	97.14%	クラブ	(清)君—鶴岡西RC 早坂(源)君—京都 ローターリー研究会
ビジター	齋藤五郎八君—温海RC 羽根田正吉君、半田勇三郎君、阿宗健一郎君、白崎伸二君、菅原、原年雄君—鶴岡西RC			